

NPO 法人新現役ネット技術総合支援グループの沿革

- 2001年11月 外交評論家故岡本行夫氏（2020年4月、コロナに感染して急逝）と三菱商事常務（当時、のち社長・会長を歴任）小島順彦氏他有志で、日本の高度成長を支えてきた企業等定年退職者の生き甲斐および社会貢献の場として「NPO 法人新現役ネット（SGN）」が創設された。
- 2002年7月 SGNの下部組織として、主に技術系OBが現役時代に培った知見・人脈を、中小企業支援に生かす社会貢献活動の組織として、技術総合支援グループ（GSSG）（初代代表北海道大学名誉教授大塚喜弘）が発足。その趣旨に賛同した岡本行夫SGN理事長から100万円の寄付があり、現在の活動資金のベースになっている。
- 2002年 第1回GSSGフォーラムを開催。2022年2月に第46回を開催。
- 2005年 出版活動を開始し、「これからのものづくり」を出版。
- 2007年 さらに「ものづくりのための人づくり」を出版した。
- 2008年 北京オリンピック年に因み、「SGN金メダリスト表彰式」にて、社会貢献部門として岡本理事長よりGSSGに大判金メダル及び記念品が授与された。
- 2008年 中小企業庁の政策による「協働NPOネットワーク化事業」（中小企業と支援NPOグループとの企業支援マッチング化事業）を受託（08年度2,100万円、09年度1,400万円）。当初は5か年計画であったが、民主党政権の蓮舫参議院議員による「事業仕分け」により、2年間で終了。
- 2010年12月 中小企業支援の活動事例として、富士精器（株）への支援活動が12月7日付け読売新聞の夕刊に掲載された。
- 2011年 3月11日に発生した東北大震災の支援活動として、本部のNPO法人新現役ネットと連携して、中小企業各社に必要とする支援についてアンケート調査を実施した。
- 2011年11月 東京都中小企業振興公社主幹の首都圏有力中小企業若手社長グループ「つれづ連」と交流開始、メンバーとして定例会議に参加。
- 2014年 アフリカのマラウイ向け衛生環境改善商品販売のモンスーンジャパン社を支援（初の海外案件）
- 2015年 東京都中小企業振興公社から人材紹介の要請を受け、

- SGNにも協力依頼し、同公社に対し人材紹介を開始。
- ・ 2015 年 東京商工会議所の正式メンバーになり、加盟各社との各種交流会に参加し、GSSG メンバー・支援先・フォーラム講師等の開拓、情報入手活動の促進を図る。また、関東圏各地の信用金庫主催の取引先中小企業各社の異業種交流会にも参加。
 - ・ 2016 年 3 月 中小企業庁の政策による東京都立高専施設活用による中小企業若手技術者育成策として、都立産業技術高等専門学校にて、座学実習・出前講座を行い、3 月 10 日付けの産経新聞に掲載された。
 - ・ 2017 年 立正大学経営学部・東京中小企業同友会主催の経営創業講義（品川キャンパス）にて、「よい会社とは何か？」について講義。参加者は学生 212 名、企業経営者 16 名、GSSG より 6 名。
 - ・ 2017 年 3 月 西武信用金庫と「包括的連携・協力に関する契約書」を 3 月 22 日付けにて締結。同日付けで「個人情報保護及び秘密保持に関する契約書」を締結した。これを契機に GSSG 内にて、オブザーバー参加者も含めて「秘密保持に関する誓約書」を提出願うこととした。
 - ・ 2018 年 品川区商業・ものづくり支援課の「ビジネスカタリスト」登録をし、これに基づきセミナー講師派遣や中小企業支援が開始された。具体的には品川区商業・ものづくり課長から「業務依頼通知書」を受領し、GSSG 内では代表と担当者間で「業務委託契約書」を締結の上、支援業務を実施している。
 - ・ 2019 年 仏大学院生博士論文調査・執筆に協力。論文テーマは 仏・日の高齢者の生き甲斐・社会貢献。SGN 日本語クラブの日本語指導と併せて協力した様子が 2020 年 2 月 13 日の産経新聞（夕刊）に掲載された。
 - ・ 2020 年 ブータン王立大学の測量・地理情報工学科での 2 年目の実技実習の教科書「測量 - II」の作成支援に 10 万円の寄付。
 - ・ 2021 年 コロナ禍でリアルな会合がほとんどできなくなり、西武信金のオンラインフェアに出展して、中小企業の支援活動につなぎ、運営委員会も ZOOM 会議を多用して開催した。